

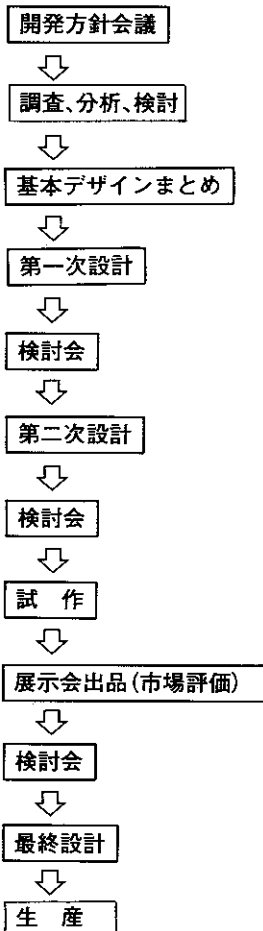
# 13-14 システム機能家具の開発研究

恵原 要

## 1. はじめに

低迷する家具業界の中で、屋久杉家具業界もこの例外になく、打開策を模索している現状にある。このような状況の中で、新たな方向を見い出そうとする企業との共同研究として、企業の規模および蓄積された技術を生かし、かつ従来手がけた製品とは性格を異にする全く新しい製品としてシステム機能家具の開発研究を行なった。

## 2. 製品開発経過



## 3. 仕様

### 3.1. 材料

(1) 芯材：パーティクルボード

(2) 表面材：トガ材突板

### 3.2. 副資材

(1) ガラス：強化ガラス5mm厚、透明

(2) 引手：ゴム製、黒色

(3) 蝶番：スライド蝶番

### 3.3. 表面仕上

企業独特の杳目表現技法を用い、黒い家具に杳目を浮かび上げ装飾性を加味し、ユニット家具の中にあって一つの特徴付けとした。

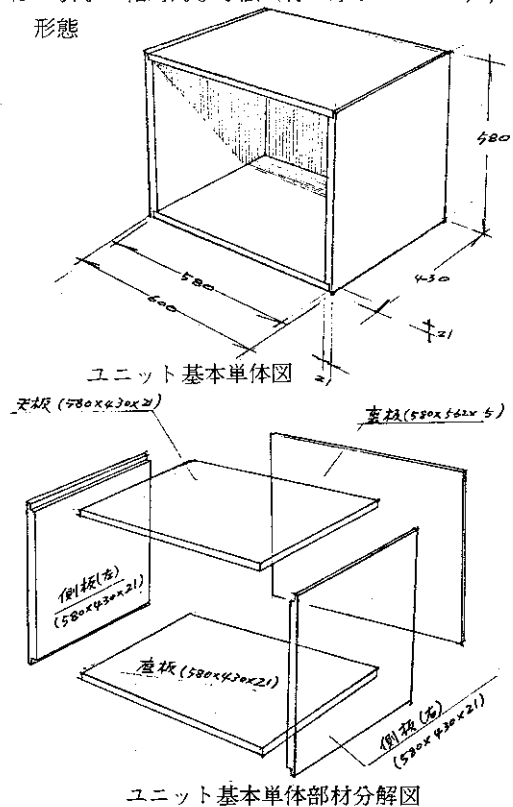
## 4. まとめ

時間的余裕がなかったため、一次試作の段階で全日本家具展、鹿児島県産銘木家具工芸展に出品したが、改良すべき点が残された。

(1) 杳目があまりに目立ちすぎ、異様な雰囲気を与えてしまうので、着色段階で濃淡の差を押える事が必要である。

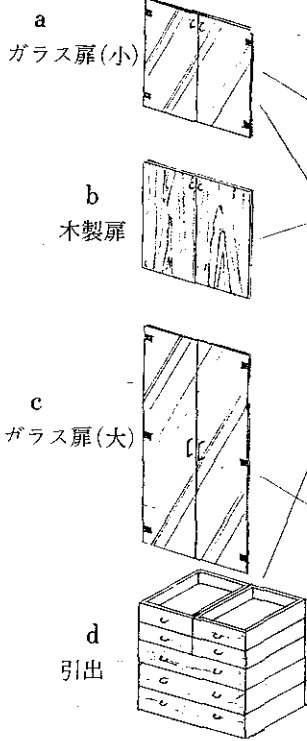
(2) 黒という色がこの製品に合うかどうかの検討

(3) 引手の相対的な寸法（特に厚みについて）、形態

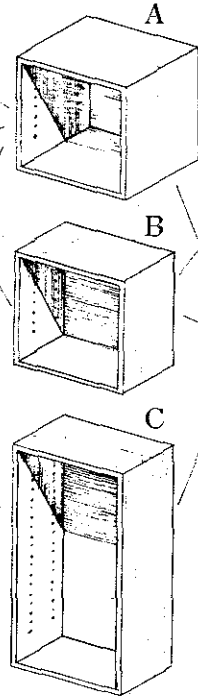


パーツ組合せによるユニット組立とオプション

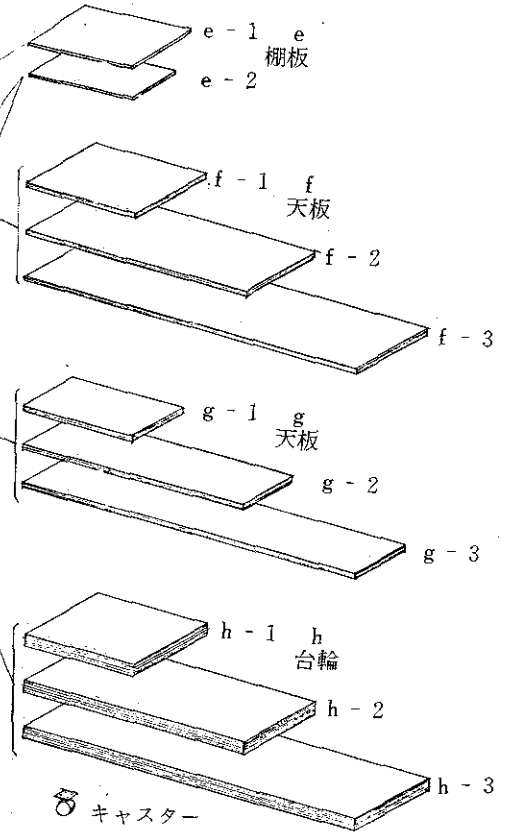
扉・引出群



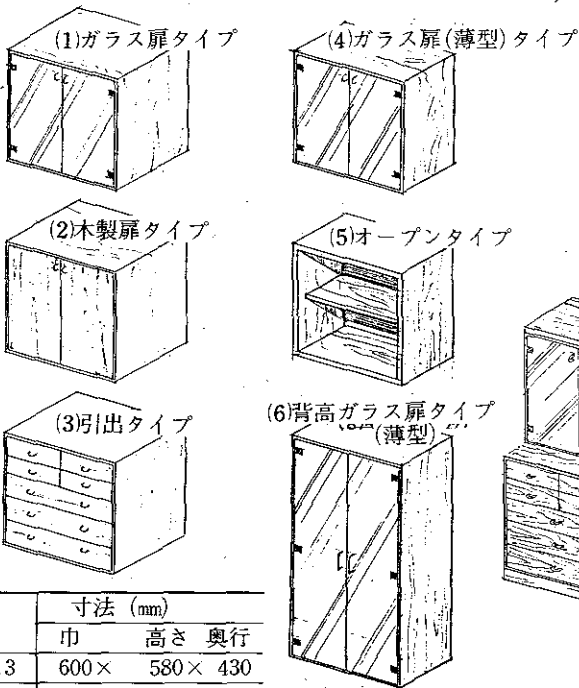
ボックス群



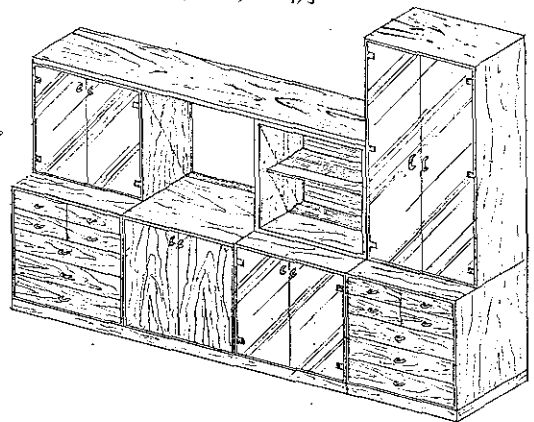
オプション群



機種6タイプ



システム例



機種	寸法 (mm)		
	巾	高さ	奥行
タイプ1,2,3	600×	580×	430
タイプ4,5	600×	580×	300
タイプ6	600×	1,160×	300